

議員提出議案

9月定例会において議員提出議案の意見書2件、附帯決議1件を全会一致で可決し、意見書については、関係行政庁及び国会に提出しました。

意見書

私立幼稚園の耐震化に対する財政支援の拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担制度堅持と教育予算の充実を求める意見書

附帯決議

第74号議案「長崎市福祉医療費支給条例の一部を改正する条例」に対する附帯決議

一般質問

(個人質問)

市民クラブ

(仮称)伊王島大橋架橋後のパークアンドライド方式の具体的対応策

問

(仮称)伊王島大橋は通行料無料との発表がなされ、9月半ば頃最後の橋げたがかかろうとしている。架橋後、島内はパークアンドライド方式をとることだが具体的な対応策を伺いたい。

答

やすらぎ伊王島隣接地に駐車場を確保し、クラブハウスと一体的に整備予定であり、自転車、徒歩を主流とし、バスにより補完する交通体系を検討している。また、案内看板等をわかりやすいものにつくり変えて、島内を円滑に誘導できるよう努めたい。

プレジャーボート等の係船施設の整備状況

問

平成9年の長崎市漁港管理条例

問

9月定例会では、9月6日から9月14日までの4日間にわたって、個人質問(22人)が行われました。今回の質問では議員ごとに1項目ずつ合計22項目を掲載しています。

答

国からは再開発事業等がなく、まちづくり会社の設立の目的がたっていないことなどを理由に認定申請は難しいとの回答を得ている。今後も「浜んまちエリアマネジメント協議会」などと継続的に協議を行い、中心市街地活性化基本計画の認定申請に向けて取り組みを進めていきたい。

(仮称)長崎市アートセンターについて

問

美術、芸術等の中核的役割を果たす(仮称)長崎市アートセンターの検討状況と、市民美術展に携わっている長崎市美術振興会事務局の旧英国領事館からの移転先の検討状況について伺いたい。

答

美術環境の整備については、市の空き施設や洋館等の活用を模索する中で、機能等のあり方や配置など関係機関の意見を聴き検討を進めていきたい。また、NPO法人長崎市美術振興会の移転先は、旧南部環境センターの2階部分を活用することで調整を図っている。

中心市街地活性化について

問

平成19年の商業統計では、本市の商品販売額は中核市40都市中40位と最低で、その後の中心市街地活性化策を見てもまちづくり会社の発足につながっていないように思う。市長の任期中に中心市街地活性化基本計画の認定を目指すのか伺いたい。

答

平成20年度末までにタラップ158基を整備し、更に平成21年度の緊急経済対策により、現在256基を整備できた。今後は調査結果に基づき台帳を整備し、漁船とすみ分けて年次計画を定め整備していきたい。



プレジャーボート係船状況